

Easter Village

イースタービレッジだより 第61号



ただいま化粧直し中

ペンキ塗り

2018年6月、また、フィリピンでは新学期が始まる。それぞれ学年を一つ上がったの新たなスタートだ。4月5月の長い夏休みの間、長年雨風や日照りに耐えていたビレッジホームの緑色の屋根に茶色の錆が目立ってきたため、思い切ってペンキを塗りなおすことにした。もちろん、素人だけではできないので、プロの大手で職員のラミルさんの出番だ。高校や大学に通う奨学生たちも手伝いながらの作業となった。

「緑いっぱいの場所に緑の家を」という発想でこのイースタービレッジの建物はできた。2002年の仮屋でのスタートの2年後の2004年、今のホームの建物が完成した。10周年を迎える2012年の前に一度、壁などは塗りなおしたが、吹付のペンキの屋根は今回が建築以来初めての塗り直しだ。14年分の垢を落とすがごとく、屋根を磨き、新たな緑色のペンキを塗った。前のものよりも少し濃いめの緑色になった。

屋根がすっかり鮮やかな緑色になると今度は壁の色が気になる。すすけて見えてアンバランスなのだ。仕方ない、壁もこの際塗りなおそう。屋根が濃いめの緑色で家の壁はそれより薄い緑色だが、同じ色のペンキがなかったのので、以前のよりも薄い緑色となった。制服や靴、教科書やノート、そして気持ちも新たになるこの季節、みんなの家、ホームもお化粧直し、イースタービレッジ全体が新たな気持ちで再出発する機運になっている。

一時的に避難所的に住んでいる子ども、諸事情で長く住んでいる子ども、思春期になりスタッフを困らせている子ども、奨学生として受け入れられ、また学校に行ける喜びをかみしめている子ども、十人十色、それぞれの思いでのスタートだ。フィリピンに春という季節感はないが、6月はやはりフィリピンの春なのだ。子どもたちの大志の実現を少しでもお手伝いできる体制作りを大人たちはせっせとしている。日本の多くの支援者の方々に感謝の気持ちを常にもちつつ、イースタービレッジは歩んでいく。

ディレクター 祐川郁生神父

卒業おめでとう

4月にI-L(大きな子供たち)プログラムメンバーのセサルが大学を、ジョビリンが高校を無事に卒業することができました。そのセサルがEVとそのサポーターに手紙を書いてくれたので、日本語に翻訳して紹介したいと思います。

セサルからの手紙

私の人生において、勉強を終え卒業証書を受け取ることはずっと待ち望んでいたことでした。その為には多くの時間を費やし多くの困難に直面しましたがそれでも辛抱強く耐え抜きこまめたどり着くことができました。全ての創造主、我らの唯一の救い主である神に感謝いたします。それと心から私を助けてくれた全ての人々へ、私がどれほど感謝しているかを伝える言葉が見つかりません。

イースタービレッジファミリーへ、とりわけファザー・スッケ(祐川神父)と全てのサポーターへ、私がこの手紙を書いている間どれほど感謝の気持ちでいっぱいか神は知っておられることでしょう。あなた方がいなければ、あとどれくらい私は立ち向かわなければならぬ困難に耐え忍び待たなければならなかったのか、誰に分かるでしょうか？今までの支援、本当にありがとうございます。そしてあなた方のおかげで今、私は学位取得者です。今日というこんなに早い時期に卒業できるのは、今まで夢にも思っていませんでした。私はあなたからの恩恵の下に生き、また感謝を忘れないでしょう。

あなた方は私のような経済的支援を必要とする多くの子どもたちを助けてこられ、また学校を卒業できるチャンスを与えてくれました。私はEVにいる間に多くのことを学んできました。そしてEVは自分が他の人と比べてなんと恵まれているのかを気づかせてくれました。神は本当に偉大で、ファザー・スッケ(祐川神父)のような謙虚な人物を、その持てる全ての愛情で子供達を助けるように、道具として遣わされました。

神がこれからも私たちを導き、そして私たちの上に祝福を降らせてくれますように。神に栄光！



大学への進学を決めたジョビリン



セサルとそのご両親

夏休み

フィリピン人の学校制度は日本とは違い2学期制です。3月の末に2学期が終わると約2ヶ月間の長い夏休みに入ります。

ビレッジではこの期間を利用して様々なプログラムを用意します。今年は音楽レッスンにダンスレッスン、日本語のレッスンやおかし作りにも挑戦しました。他にも園内で総当たりのテニス大会も開催され大いに盛り上がりました。

みんなの様子を少しですが写真でご紹介したいと思います。



天気の良い日は外でみんなでダンス



大会はムロンが見事に全勝優勝



ダンスやおかし作りはスカラーのアイミとジョビリンが教えてくれました



モビーの誕生日

モビーという少年はビレッジの子供ではないのですが、去年EV主催のテニスクールがきっかけでよく遊びに来るようになりました。

彼はそれまでは引きこもりがちな子供だったようですが、イースタービレッジに通ううちにどんどん明るさを取り戻して行き、今ではすっかりEVファンになってしまったようです。

彼の両親もイースタービレッジにとっても感謝しているようで、彼たつての願いということもあり、4月の彼の13歳の誕生日にボンゴラノンの滝というリゾート地にEVのみんなを招待してくれました。その名前の通り滝がある場所で、滝つぼや川、またはハイキングも楽しめます。少し肌寒いくらいの気候の場所でしたが、みんな夢中になって遊びました。



左からラン、ネリサ、インダイの3人
ダバオへ初めて連れて行ってもらいました



みんなで滝に突撃！



ボールを吹くジュンジュンの図



小さなマージェイラは小川で遊びます

ご寄付いただいた方々
心より御礼申し上げます。

石川雄治 浦谷孝義
カトリック岡山教会・イースタービレッジを
支える会
吉田設子 加藤楓
カトリック北26条教会
カトリック小野幌教会 株式会社ウイズ
カトリック佐々教会
株式会社リモウ 高橋大作 上野祐子
大塚美和子 亀田久美子
カトリック北広島教会・アルコイリス虹の会
笠原孝広 本郷浩二 村木ウチ子
松村輝子 カトリック俱知安教会
宮崎喜代子 聖心の布教姉妹会
川本悦子 千葉史郎 高橋博子
森田美千代 浅井繁 内田千賀子
末吉惺子 永井幸雄 笠松博子
阿部秀子 祐川真一 秋田佳典
天使の聖母トランプスチヌ修道院
阿部美砂子 大塚美和子
川成多紀子 大森アヤ子 山本悟郎・蓉子
堀田敏弘 古賀清敬 小樽晴美・あすみ
株式会社マキタ設計事務所・代表取締役・蒔田俊明
渡辺幸治 原谷信光 安藤佐智子
用田恵子 トーエイ貿易株式会社
扇谷良廣 窄口三千江 飯塚雄介
あじさいの会・原田真理子
カトリック手稲教会福祉部
水口透 西敏明 工藤麗子 森脇栄一
佐藤美弥子 末沢史 宮田敏夫・ゆかり
雪田留美子 坂上満子 南慎子
中村吾郎 山元尚子 入江幸子
カトリック室蘭教会・小林薫
宮坂建設工業株式会社
澤田あさみ 岩崎矩子 鈴木望・きよ美
札幌インナーホイルクラブ会長・八木友美
その他匿名の方々

(敬称略・順不同)

2018年2月5日～5月31日



EVの昨日今日

復活祭(イースターサンデー)

今年の復活祭は4月1日でしたが、キリスト教国であるフィリピンでは聖週間(ホーリーウィーク)の間、国中がお祭りムード一色になります。例年通りEVでも盛大に祝いをしました。

恒例の宝探しならぬ卵探しから始まり、他にも色々な屋外ゲームをしてからみんなでご馳走をいただきます。



色とりどりのイースターエッグ



たまご発見!



ベルナちゃんチーム
因みにみんな紐で繋がれています



おなじみの屋外ゲーム ジョシュアがんばれ!



エリサちゃんチーム

訪問者

イースタービレッジは多くの善意ある方達の支援によって成り立っています。そして中には直接ビレッジまで寄付を届けてくれる方々も多数いらっしゃいます。

2月には日本から福祉に携わっている方がEVを訪れました。彼女は日本で募った大量の子供服を届けてくれ、2週間ほど滞在しました。滞在中には子供たちをジョリビーやエライのスイミングプールに連れて行ってくれて、子供たちともすっかり仲良しになりました。

同じ2月の末にはフィリピンに住むインド人、マン・マンプレット・シアンさんが、子供たちにダンボールいっぱい日用品などを届けてくれました。彼は今までにも度々ビレッジを訪れてくれていて、もうすっかりおなじみの顔になっています。

4月にはレスリー・ボウエンさんが彼女の45歳になる誕生日をビレッジでお祝いしに来てくれました。子供たちやスタッフの分のジョリビーのパティーセットを準備してくれて、お礼にみんなが歌のプレゼントをお返ししました。



ジョリビーのパーティールームで記念撮影



エライのプールで遊ぶラン



レスリーさん45歳のバースデーケーキ 早く食べたくてうずうず



シアンさんとの1枚 ジョシュアいい笑顔



マキララ町のソーシャルワーカーに連れて来られました



新しい仲間
ビレッジに新しい仲間が増えました。エンジェル(9歳)とガリー(7歳)の姉弟です。
二人はイースタービレッジのあるキダパン市の隣町マキララ出身で、短期の滞在になる予定です。
お姉さんのエンジェルはとても人懐っこくて賢い女の子で、弟のガリーはやんちゃ盛り真つ最中です。年の近いジョシュアと気があうようで、毎日中庭で一緒に走り回っています。
ビレッジでの生活が少しでも二人の良未来の助けになりますように。



今ではすっかり仲良し3人組

誕生日おめでとう

2月から5月までに誕生日を迎えた子供を紹介します。

まず2月は26日に名古屋生まれのエリサが17歳に、29日にはジエマルが18歳になりました。二人の誕生日パーティーは日本から来ていたビクターの方の計らいで、みんな大好きなジョリビーで行われました。ファストフード店でパーティーというのは日本人にはなかなか想像しづらいかもしれませんが、子供の人口が多いフィリピンでは定番です。マスコットが踊るダンスは子供が泣き出すほど圧巻です。

3月は16日にインダイが15歳に、25日にガリーが7歳の誕生日を迎えました。インダイはいわゆる学習障害のある子で読み書きが不得意です。特別支援学級などが整備されていないキダパワンの学校からは通学を拒否されてしまい、現在は学校に通っていません。それでも持ち前のガッツのある性格で毎日ビレッジのお手伝いなどをして明るく楽しく過ごしています。

次は4月を飛ばして5月。2日にムロンが12歳に、7日にジュンジュンが13歳になりました。そして29日にはエリサのお姉さんベルナが20歳になりました。



ガリーとインダイ



ジョリビーでパーティーはすごく贅沢なことなんです



ジョリビーと記念撮影



姉妹でビレッジに来てもう12年二人とも大きくなりました



ベルナ20歳です

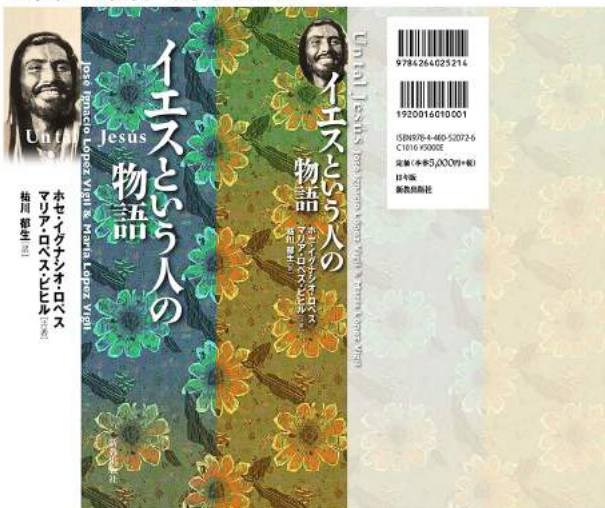


歳が近い仲良しのジュンジュンとムロン

追加出版のお知らせ

『イエスという人の物語』は2014年クリスマスに出版されましたが、この度、第二版が出されることになりました。144章、日本語でも千ページを超える作品ですが、地道にファンを増やしてきました。

ラテンアメリカで話題を呼んだラジオドラマに基づくイエスの物語で、読者は知らず知らずのうちに、当時の普通の生活や習慣、社会状況を理解することになります。勝谷司教の推薦を頂いています。ご注文はCD(左頁)と同じく月寒教会まで。





イースタービレッジCDアルバム第2弾!

フィリピンで歌われている曲や祈り
イースタービレッジのオリジナルソング
また勝谷太治司教のオリジナル曲のイースタービレッジバージョンなど

全14曲を収録

施設のチャペルで録音された子供たちのイノセントな歌声や
イースタービレッジの歌姫ビビの美しい歌声など
前作よりもさらにスケールアップした音楽が聴く者の心を揺さぶります
日本から自分たちを支えてくれる全ての人々に感謝を込めて

遠い南の島ミンダナオ島から
Merry Christmas in Easter Village!!

受付・問い合わせ

カトリック月寒教会 CDアルバム係り

〒003-0021

札幌市白石区栄通2丁目11-16

電話 011-851-2032

Fax 011-851-2044

Email ako.martha@gmail.com



iTunes Store MUSIC LINE MUSIC

Google play music amazon

各サイトにてEVオリジナルソング配信中

購入は'Easter Village'で検索してください



ボンガラノンの滝にて

《支援のお願い》

フィリピン南部にあるイースタービレッジ・ミンダナオは善意ある日本の皆様に支えられています。貧困と紛争の犠牲者となっている声なき子供たちを私たちが支え、そして彼ら自身が自立し、貧困と紛争を取り除く平和の使者となるようにできるだけの援助をしたいと考えています。与える以上に受けるものの方が本当はもっと多いのです。援助をくださる方は下記事務局にご連絡くださいませ。

「イースタービレッジ・ミンダナオを支える会」支援者募集

■代表 勝谷 大治 ■事務局 西田 淳子 松川 厚明

住所

060-0031 札幌市中央区北1条東6丁目10 カトリック札幌司教館内
「イースタービレッジ・ミンダナオを支える会」事務局

Tel 011-241-2785 Fax 011-221-3668

支援金： 年会費一口 ¥5,000(一口以上) 一般寄付

郵便振替口座番号： 02760-3-39473

口座名称： イースタービレッジ・ミンダナオを支える会

現地事務局： EASTER VILLAGE OFFICE

Address: Riverpark Subd., Kidapawan City 9400 Cotabato Philippines

Tel/Fax: 63-64-577-3118

Email: info@eastervillage.com

Website: http://eastervillage.com

特記

会員、並びに奨学生を支えて下さっているスポンサーの方々、一般のご寄付をくださった方々には継続してこのたよりを送らせていただきます。(年4回)

